

食道癌の早期診断は、改めて言うまでもなく目覚ましい進歩を遂げた。この原動力となったのは内視鏡によるスクリーニングである。従来、極めて困難とされてきた上皮内癌と粘膜癌の診断も、ヨード染色法の確立により標準的な診断法となり、早期診断の普及を早めた。これまでの臨床病理学的実績は、粘膜癌こそ早期食道癌であることを示唆し、この概念は今や広く世間の認めるところとなった。

一方、粘膜癌のX線診断は報いの少ない努力を続けなくてはならなかった。ヨード染色法のような、画期的手法は登場しなかったからである。次々に臨床の場に登場する上皮内癌、粘膜癌は凹凸の少ない病変である。これをフィルム上にいかに精密に再現するか、先行する内視鏡と病理にいかにか速やかに追いつくか、従来の食道造影法の改

良だけで実現しなくてはならなかった。この間、食道粘膜癌のスクリーニングと精査は、内視鏡検査以外に有効なものはないと、誰もが信じて疑わなかったのである。

ところがである。この間にX線診断は確実に進歩を示し、粘膜癌の描出、詳細な深達度の診断を実現、その真髄は本号に余すところなく開陳されている。この診断学は既に一般に普及しようとしている。更にこの知識を応用した、間接撮影による食道粘膜癌のスクリーニングの可能性が示され、食道癌の早期診断に大きな可能性が開けてきた。食道早期癌の診断は、再びX線、内視鏡、病理の三役が揃って活躍する常態に復したのである。上皮内癌、なかでもIIb型のX線による描出は現在でも困難である。しかしこれまでの経過は次の時代を期待させるのである。

胃と腸

10月号 (第32巻・第11号) 予告

発売予定

10月25日

定 価 (本体 2,100円+税)

主題/Is型大腸sm癌を考える

序 説	東京都がん検診センター	西 沢	護
主 題	Is型大腸癌とは一私はこう考える	新潟大・1病理	渡 辺 英 伸
	Is型大腸癌とは一私はこう考える	東京医科歯科大・病理	中 村 恭 一
	Is型大腸癌とは一私はこう考える	国立がんセンター臨床検査部	下 田 忠 和
	Is型大腸sm癌の成り立ち—X線の立場から	国立がんセンター放射線診断部	飯沼 元・他
	Is型大腸sm癌の成り立ち—X線の立場から	松山日赤・消化器科	小林 広幸・他
	Is型大腸sm癌の成り立ち—内視鏡の立場から	久留米大・2内	鶴田 修・他
	Is型大腸sm癌の成り立ち—内視鏡の立場から	秋田日赤・胃腸センター	工藤 進英・他
	Is型大腸sm癌の成り立ち—病理の立場から	癌研・病理	加藤 洋・他
	Is型大腸sm癌の成り立ち—腺管構築の病理組織学的解析から	東京都がん検診センター	大倉 康男・他
	Is型大腸sm癌の治療—内視鏡治療の適応を中心に	旭川医大・3内	斉藤 裕輔・他
	Is型大腸sm癌の治療—外科の立場から	東京都立駒込病院・外科	高橋 慶一・他
	Is型大腸sm癌の深達度とリンパ節転移	福岡大筑紫病院・病理	岩下 明德・他
リフレッシュ講座	〈小腸X線検査②〉読影のポイント	九大・2内	青柳 邦彦・他

胃と腸 (第32巻 第10号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802

E-mail: itocyo @ nna-so-net.or.jp

1997年9月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体 2,100円+税)(配送料 124円)

1997年年々ぎめ予約購読料 29,600円

(増刊号 4,400円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1997, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ＜R＞日本複写権センター委託出版物・特別扱い＞
- 本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)小松原・土田・小林・長谷川